

第 51 回学生弓道合同研修会 議事録

於：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 416 号室

日時：令和 7 年 12 月 13 日(土)、14 日(日)10 時～16 時

司会：東京都学生弓道連盟委員長 塚原

書記：小金井美桜

都築 勇翔

桑原 宏多

杉本 和奏

議題

《一日目》

1. 定足数確認・開会挨拶
2. 都学連規約改正
3. 名誉顧問推薦
4. 表彰式・講評
5. 女子リーグ編成表再編について
6. 女子リーグ編成表再編
7. 2026 年度事業計画
8. ブロック分け抽選会
9. 全体を通した質疑応答

《二日目》

1. 定足数確認
2. 都学連規約改正
3. 道場貸出について
4. 全日本学生弓道連盟より連絡
5. 2026 年度新役員募集について
6. 役員派遣負担金制度について
7. 第 72 期新人戦について
8. 告知・注意喚起
9. 全体を通した質疑応答・その他

《一日目》

1. 定足数確認・開会挨拶（委員長 塚原）

定足数確認

《定足数》 第十九条

「総会は加盟校の三分の二以上の出席、または委任状の提出がなければこれを開くことが出来ない。」

加盟校 51 校のうち 50 校の出席、1 校からの委任状を確認した。

加盟校 2/3 以上参加のため、総会開催条件を満たす。

開会挨拶

東京都学生弓道連盟会長 加藤善行先生

2. 都学連規約改正（委員長 塚原）

内容

名誉顧問の新設。

発議背景

東京都学生弓道連盟前会長である小笠原清忠先生には 33 年間（1992 年～2025 年）に渡り本連盟の会長を務めていただいた。本連盟の活動を長きに渡りお支えいただいた小笠原先生には顧問ではなく、名誉顧問に就任していただき、本連盟の発展に引き続きご助力いただきたい。

発議、提案内容

下記のように条文を修正したい。

《役 員》第八条

「本連盟に次の役員を置く。

一、	会 長	一名
二、	副 会 長	若干名
三、	名 誉 顧 問	若干名
四、	顧 問	若干名
五、	委 員 長	一名
六、	副 委 員 長	一名
七、	副 委 員 長（会計）	一名
八、	副 委 員 長（総務）	一名
九、	副 委 員 長（外務）	一名
十、	副 委 員 長（内務）	一名
十一、	専 任 委 員（会計）	一名
十二、	専 任 委 員	若干名」

《選 出》第九条

②「名 誉 顧 問・顧 問は加盟大学のOB団体より推薦し、総会の承認を経て会長がこれを委託する。特に本連盟への功績顕著な者を名 誉 顧 問とする。」

《会長・副会長・名 誉 顧 問・顧 問》第十条

②「名 誉 顧 問・顧 問は連盟の運営の円滑化のために助力にあたる。」

《任 期》第十三条

①「会長・副会長・名 誉 顧 問・顧 問の任期は九月一日より翌々年の八月三十一日の二年間とする。但し、再選を妨げない。」

質疑応答

質問なし。

議決

全会一致で可決された。

3. 名誉顧問推薦（委員長 塚原）

推薦

名誉顧問：小笠原清忠先生（慶應義塾大学 OB）

議決

全会一致で承認を確認。よって承認された。

4. 表彰式・講評

第 71 期リーグ戦・女子部リーグ戦 リーグ優勝校による優勝杯返還並びにレプリカ授与

男子

I 部優勝校 法政大学
II 部優勝校 日本大学
III 部A 優勝校 立教大学
III 部B 優勝校 東京都立大学
IV 部A 優勝校 成蹊大学
IV 部B 優勝校 工学院大学
IV 部C 優勝校 東京理科大学
V 部A 優勝校 国士館大学
V 部B 優勝校 東京工科大学
V 部C 優勝校 立正大学

女子

I 部優勝校 日本大学
II 部A 優勝校 東京農業大学
II 部B 優勝校 立教大学
III 部A 優勝校 一橋大学
III 部B 優勝校 國學院大學
III 部C 優勝校 上智大学
IV 部A 優勝校 工学院大学
IV 部B 優勝校 武藏大学
IV 部C 優勝校 東京都市大学
V 部A 優勝校 東京経済大学
V 部B 優勝校 お茶の水女子大学

以上を代表し、

第 71 期リーグ戦 I 部優勝校法政大学、

第 71 期女子部リーグ戦 I 部優勝校日本大学による優勝杯返還並びにレプリカ授与

第72期男子リーグ戦・女子リーグ戦優勝校 表彰

男子

I 部優勝校 慶應義塾大学
 II 部優勝校 日本大学
 III 部A 優勝校 東京都立大学
 III 部B 優勝校 立教大学
 IV 部A 優勝校 芝浦工業大学
 IV 部B 優勝校 東京都市大学
 IV 部C 優勝校 立正大学
 V 部A 優勝校 国士館大学
 V 部B 優勝校 東京経済大学
 V 部C 優勝校 東京学芸大学

女子

I 部優勝校 日本大学
 II 部A 優勝校 國學院大學
 II 部B 優勝校 法政大学
 III 部A 優勝校 青山学院大学
 III 部B 優勝校 日本体育大学
 III 部C 優勝校 東京都市大学
 IV 部A 優勝校 東洋大学
 IV 部B 優勝校 玉川大学
 IV 部C 優勝校 東京経済大学
 V 部A 優勝校 お茶の水女子大学

以上の大学に、賞状並びに優勝杯授与

第72期男子リーグ戦・女子リーグ戦個人的中率上位者 表彰

男子

1位	若林 優弥 さん (明治大学)	4年)
2位	佐藤 苍 さん (早稲田大学)	2年)
3位	平瀬 慶 さん (明治学院大学)	3年)
4位	小沼 煌季 さん (桜美林大学)	1年)
5位	中嶋 一郎 さん (桜美林大学)	2年)
〃	田口 宜知 さん (中央大学)	1年)
7位	川端 歩武 さん (法政大学)	2年)
〃	辻井奏直汰 さん (法政大学)	1年)
9位	森岡 優介 さん (法政大学)	4年)
〃	和田 弓弦 さん (法政大学)	1年)
〃	青柳 匠海 さん (日本大学)	3年)

女子

1位	小山 愛莉 さん (日本大学)	1年)
2位	松井 和華 さん (中央大学)	4年)
3位	千明 望々 さん (日本大学)	4年)
4位	加藤ほの美 さん (明治大学)	3年)
〃	北郷亜香里 さん (立教大学)	2年)
6位	吉岡 美紀 さん (日本大学)	2年)
〃	蝦名 優花 さん (東京農業大学)	3年)
8位	岩森 咲良 さん (桜美林大学)	1年)
9位	林 里穂 さん (日本大学)	2年)
〃	土岐 咲楽 さん (中央大学)	2年)
〃	石井 桃子 さん (國學院大學)	4年)
〃	多田 紗音 さん (青山学院大学)	3年)

以上を代表し、

男子個人的中率第1位若林優弥さん (明治大学4年)

女子個人的中率第1位小山愛莉さん (日本大学1年) に賞状並びに楯授与

第72期男子リーグ戦・女子リーグ戦新人賞 表彰

男子

1位 小沼 煌季 さん (桜美林大学 1年)
2位 田口 宜知 さん (中央大学 1年)
3位 川端 歩武 さん (法政大学 2年)
〃 辻井奏直汰 さん (法政大学 1年)

女子

1位 小山 愛莉 さん (日本大学 1年)
2位 岩森 咲良 さん (桜美林大学 1年)
3位 碓井 陽奈 さん (桜美林大学 3年)

以上を代表し、

男子新人賞第1位小沼煌季さん (桜美林大学 1年)

女子新人賞第1位小山愛莉さん (日本 大学 1年) に賞状並びに楯授与

第72期男子リーグ戦・女子リーグ戦皆中賞

男子

川端 歩武 さん (法政大学 2年)
佐藤 蒼 さん (早稲田大学 2年)
茅野 麗司 さん (桜美林大学 2年)
中嶋 一郎 さん (桜美林大学 2年)
小沼 煌季 さん (桜美林大学 1年)
増田 皓太 さん (明治大学 4年)
若林 優弥 さん (明治大学 4年)
石井 啓斗 さん (日本大学 3年)
松下 祐基 さん (日本大学 3年)
工藤 拓海 さん (日本大学 2年)
田口 宜知 さん (中央大学 1年)
平瀬 慶 さん (明治学院大学 3年)

女子

功刀 樹菜 さん (桜美林大学 2年)
片桐 陽那 さん (東京都立大学 3年)

講評

東京都学生弓道連盟会長：加藤善行先生

5. 女子リーグ編成表再編について（委員長 塚原）

発議背景

近年加盟校の脱退が相次いでいたが、2025年5月の二松学舎大学の脱退、そして2026年4月に学習院女子大学が学習院大学と合併するため、第73期女子リーグ戦（2026年開催）の開始時の女子リーグ編成表はV部が1ブロックになってしまこととなった。また、2024年の定時総会にてリーグ編成表再編が近々行われる旨を告知していた。

本年度8月に開催された2025年の定時総会にて、

- ①リーグ編成表再編後のブロック表について
- ②リーグ編成表再編方法について

以上の2点について議決を取り、加盟校の承認を得て可決された。

2025年学生弓道合同研修会にて正式な規約改正、リーグ編成表再編を行う。方法などについては本年度定時総会にて既に可決されているため、今回は内容面の議論はせず、規約の整合性に関してのみを議論の対象とする。

女子リーグ編成表を再編しないことによる影響

- ①編成表のピラミッドが崩れてしまう。
編成表のピラミッドが崩れると、上位校の希少価値が低下してしまう。
- ②入替戦の本来の価値が損なわれてしまう。
再編前のリーグ編成表のままでは、V部の上位3校が入替戦に進出することができてしまう。
- ③I～V週の開催意義が薄れてしまう。

本連盟の提案

以上①～③の理由から、女子リーグ編成表の再編により

- ・編成表のピラミッドが保たれ、上位校の希少価値が高まる
- ・上位校になることを目指し、加盟校間の競争を加速させることで競技性・競技レベルの向上、ひいては学生弓道の発展につながる

と考えられる。

※現在本連盟がV部制を採用しているのは、「四年間でI部昇格を果たせるようにする」という意図に基づくものである。

女子リーグ編成表再編のメリット

- ①最も適切なピラミッド型の編成表となり、加盟校間の競争が加速する。
- ②上位校であることの価値が男女で等しくなる。
- ③将来的な加盟校数減少に対応できる。

女子リーグ編成表再編のデメリット

降格校数が 25 大学に及んでしまう（II 部 5 校、III 部 10 校、IV 部 10 校が降格圏に属する）。

6. 女子リーグ編成表再編（委員長 塚原）

発議・提案内容

第 71 期（2025）定時総会にて決定した通り、女子のリーグ編成表を男子と同様のリーグ編成表に再編する。

下記のように条文を修正したい。

《リーグ編成》第八十五条

- ①「加盟校は I 部・II 部・III 部・IV 部・V 部に分類し、~~II 部・V 部は A・B に分割、III 部・IV 部は A・B・C に分割する。~~ III 部は A・B に分割、IV 部・V 部は A・B・C に分割する。なお原則として各ブロックにつき五大学とする。」

《入替戦組み合わせ》第一〇六条

- ①「女子リーグ戦 I 部-II 部入替戦組み合わせは、男子リーグ戦 ~~II I 部-II II 部~~ 入替戦組み合わせに準ずる。」
- ②「女子リーグ戦 II 部-III 部入替戦組み合わせは、男子リーグ戦 ~~III II 部-IV III 部~~ 入替戦組み合わせに準ずる。」
- ③「女子リーグ戦 III 部-IV 部入替戦組み合わせは、男子リーグ戦 ~~IV III 部-V IV 部~~ 入替戦組み合わせに準ずる。」
- ④「女子リーグ戦 IV 部-V 部入替戦組み合わせは、次の通りとする男子リーグ戦 IV 部-V 部入替戦組み合わせに準ずる。」

質疑応答

質問なし。

議決

全会一致で可決された。

女子リーグ編成表再編方法

①第72期女子リーグ戦を通常通り、順位決定戦・入替戦まで開催する。

②その結果を基に第72期女子リーグ編成表（暫定版）を作成する。

③第72期女子リーグ戦における結果を基に、降格する大学を決定する。

※所属カテゴリー内での的中率順に並べる。

※但し、暫定版から2カテゴリー以上の降格がないように配慮する。

・第72期女子リーグ編成表（暫定版）

I	日本 大学	II A	國學院大學	II B	早稲田大学	III C	専修大学
	明治 大学		東京 大学		中央 大学		学習院大学
	桜美林大学		立教 大学		東京都立大学		日本女子体育大学
	東京農業大学		東京都市大学		上智 大学		東京理科大学
	法政 大学		青山学院大学		日本体育大学		明治学院大学
III A	慶應義塾大学	III B	一橋大学	IV B	専修大学	IV C	創価大学
	東京科学大学		東京外国语大学		学習院大学		東京農工大学
	武藏 大学		明星 大学		日本女子体育大学		東京学芸大学
	日本女子大学		立正 大学		東京理科大学		工学院大学
	東京経済大学		東洋 大学		明治学院大学		駒澤 大学
IV A	帝京 大学	IV B	玉川 大学	VB	専修大学	V C	創価大学
	東京海洋大学		成城 大学		学習院大学		東京農工大学
	国士館 大学		成蹊 大学		日本女子体育大学		東京学芸大学
	学習院女子大学		大正 大学		東京理科大学		工学院大学
	電気通信大学		お茶の水女子大学		明治学院大学		駒澤大学
VA	東京薬科大学	VB				VC	
	東京工科大学						
	芝浦工業大学						
	亜細亜 大学						
	高千穂 大学						

女子リーグ編成表再編成（II部）

暫定版女子リーグ編成表においてII部に所属している10校から5校に絞る。

暫定版女子リーグ編成表におけるII部所属校は以下の通りである。

II A	國學院大學	II B	早稲田大学
	東京大学		中央大学
	立教大学		東京都立大学
	東京都市大学		上智大学
	青山学院大学		日本体育大学

暫定版女子リーグ編成表におけるII部所属校の第72期女子リーグ戦的中率は以下の通りである。

1位 中央大学 0.709

2位 早稲田大学 0.659

3位 東京都市大学 0.613

4位 日本体育大学 0.584

5位 東京都立大学 0.575

6位 青山学院大学 0.563

7位 上智大学 0.553

8位 立教大学 0.550

9位 國學院大學 0.541

10位 東京大学 0.503

1位から5位はII部残留、6位から10位はIII部降格となる。

よって、再編成後の女子リーグ編成表におけるII部所属校は以下のようになる。

II	中 央 大 学
	早 稲 田 大 学
	東 京 都 市 大 学
	日 本 体 育 大 学
	東 京 都 立 大 学

女子リーグ編成表再編成（III部）

II部より降格してきた5校のIII部所属が確定する。暫定版においてIII部に所属している15校を5校に絞り、III部に残留する5校を決定する。ただし、2カテゴリー以上の降格がないように、女子リーグ編成表再編成によりII部からIII部に降格した大学はここには含めない。

暫定版女子リーグ編成表におけるIII部所属校は以下の通りである。

III A	慶應義塾大学	III B	一橋大学	III C	専修大学
	東京科学大学		東京外国語大学		学習院大学
	武蔵大学		明星大学		日本女子体育大学
	日本女子大学		立正大学		東京理科大学
	東京経済大学		東洋大学		明治学院大学

暫定版女子リーグ編成表におけるIII部所属校の第72期女子リーグ戦的中率は以下の通りである。

1位	学習院大学	0.581
2位	東京科学大学	0.563
3位	東京経済大学	0.525
4位	日本女子体育大学	0.519
5位	明星大学	0.519
6位	慶應義塾大学	0.516
7位	武蔵大学	0.506
8位	立正大学	0.503
9位	東京理科大学	0.488
10位	東洋大学	0.488
11位	東京外国語大学	0.469
12位	明治学院大学	0.466
13位	一橋大学	0.463
14位	日本女子大学	0.425
15位	専修大学	0.422

1位から5位はIII部残留、6位から15位はIV部降格となる。

III 部所属が確定した 10 大学を的中率順に並べると以下の通りになる。

1 位	学習院大学	0.581
2 位	青山学院大学	0.563
3 位	東京科学大学	0.563
4 位	上智大学	0.553
5 位	立教大学	0.550
6 位	國學院大學	0.541
7 位	東京経済大学	0.525
8 位	日本女子体育大学	0.519
9 位	明星大学	0.519
10 位	東京大学	0.503

よって、再編成後の女子リーグ編成表におけるブロック抽選前の III 部所属校は以下のようになる。

III A	学 習 院 大 学	III B	青 山 学 院 大 学
	東 京 科 学 大 学		上 智 大 学
	立 教 大 学		國 學 院 大 學
	東 京 経 済 大 学		日 本 女 子 体 育 大 学
	明 星 大 学		東 京 大 学

女子リーグ編成表再編成（IV部）

III部より降格した10校のIV部所属が確定する。暫定版においてIV部に所属している15校を5校に絞り、IV部に残留する5校を決定する。ただし、2カテゴリー以上の降格がないように、女子リーグ編成表再編成によりIII部からIV部に降格した大学はここには含めない。

暫定版女子リーグ編成表におけるIV部所属校は以下の通りである。

IV A	帝京大学	IV B	玉川大学	IV C	創価大学
	東京海洋大学		成城大学		東京農工大学
	国士館大学		成蹊大学		東京学芸大学
	学習院女子大学		大正大学		工学院大学
	電気通信大学		お茶の水女子大学		駒澤大学

暫定版女子リーグ編成表におけるIV部所属校の第72期女子リーグ戦的中率は以下の通りである。

1位	東京農工大学	0.513
2位	東京学芸大学	0.494
3位	東京海洋大学	0.453
4位	成蹊大学	0.450
5位	玉川大学	0.447

6位	成城大学	0.441
7位	国士館大学	0.438
8位	大正大学	0.422
9位	学習院女子大学	0.409
10位	駒澤大学	0.403
11位	工学院大学	0.400
12位	お茶の水女子大学	0.381
13位	電気通信大学	0.328
14位	帝京大学	0.325
15位	創価大学	0.225

※ただし、9位の学習院女子大学は学習院大学との合併のため、再編成後の女子リーグ編成表からは除く。

IV 部所属が確定した 15 大学を的中率順に並べると以下の通りになる。

- | | | |
|------|---------|-------|
| 1 位 | 慶應義塾大学 | 0.516 |
| 2 位 | 東京農工大学 | 0.513 |
| 3 位 | 武藏大学 | 0.506 |
| 4 位 | 立正大学 | 0.503 |
| 5 位 | 東京学芸大学 | 0.494 |
| 6 位 | 東京理科大学 | 0.488 |
| 7 位 | 東洋大学 | 0.488 |
| 8 位 | 東京外国語大学 | 0.469 |
| 9 位 | 明治学院大学 | 0.466 |
| 10 位 | 一橋大学 | 0.463 |
| 11 位 | 東京海洋大学 | 0.453 |
| 12 位 | 成蹊大学 | 0.450 |
| 13 位 | 玉川大学 | 0.447 |
| 14 位 | 日本女子大学 | 0.425 |
| 15 位 | 専修大学 | 0.422 |

よって、再編成後の女子リーグ編成表におけるブロック抽選前の IV 部所属校は以下のようになる。

IVA	慶應義塾大学	IVB	東京農工大学	IVC	武藏大学
	立正大学		東京学芸大学		東京理科大学
	東洋大学		東京外国語大学		明治学院大学
	一橋大学		東京海洋大学		成蹊大学
	玉川大学		日本女子大学		専修大学

女子リーグ編成表再編成（V部）

暫定版女子リーグ編成表におけるV部所属校は以下の通りである。

VA	東京薬科大学	VB	
	東京工科大学		
	芝浦工業大学		
	亜細亜大学		
	高千穂大学		

V部所属が確定した15大学を的中率順に並べると以下のようになる。

1位	成城大学	0.441
2位	芝浦工業大学	0.441
3位	国士館大学	0.438
4位	大正大学	0.422
5位	東京工科大学	0.406
6位	駒澤大学	0.403
7位	工学院大学	0.400
8位	亜細亜大学	0.400
9位	お茶の水女子大学	0.381
10位	電気通信大学	0.328
11位	帝京大学	0.325
12位	東京薬科大学	0.303
13位	高千穂大学	0.297
14位	創価大学	0.225
15位	日本文化大学	—

よって、再編成後の女子リーグ編成表におけるブロック抽選前のV部所属校は以下のようになる。

VA	成城大学	VB	芝浦工業大学	VC	国士館大学
	大正大学		東京工科大学		駒澤大学
	工学院大学		亜細亜大学		お茶の水女子大学
	電気通信大学		帝京大学		東京薬科大学
	高千穂大学		創価大学		日本文化大学

・第72期女子リーグ編成表（ブロック抽選前）

以上より、ブロック抽選前の第72期女子リーグ編成表は以下のようになる。

I	日本 大学	II	中央 大学		
	明治 大学		早稲田 大学		
	桜美林 大学		東京農業 大学		
	東京農業 大学		法政 大学		
	法政 大学		東京都立 大学		
III A	学習院 大学	III B	青山学院 大学		
	東京科学 大学		上智 大学		
	立教 大学		國學院 大學		
	東京経済 大学		日本女子 体育大学		
	明星 大学		東京 大学		
IV A	慶應義塾 大学	IV B	東京農工 大学	IV C	武藏 大学
	立正 大学		東京学芸 大学		東京理科 大学
	東洋 大学		東京外国語 大学		明治学院 大学
	一橋 大学		東京海洋 大学		成蹊 大学
	玉川 大学		日本女子 大学		専修 大学
V A	成城 大学	V B	芝浦工業 大学	V C	国士館 大学
	大正 大学		東京工科 大学		駒澤 大学
	工学院 大学		亜細亜 大学		お茶の水女子 大学
	電気通信 大学		帝京 大学		東京薬科 大学
	高千穂 大学		創価 大学		日本文化 大学

7. 2026 年度事業計画（委員長 塚原）

2026 年度版連絡用 LINE オープンチャットへの入室のお願い

- ・みだりに招待・拡散しないこと。
- ・通知をオンにすること。
- ・各加盟校の新幹部は入室すること。

電話番号登録のお願い

都学連事務所：03-6910-0791

電話帳に連絡先を登録しておくこと。

第 72 期男子新人戦・女子新人戦

- ・トーナメント抽選会 2026 年 2 月 8 日（日）17 時以降
- ・試合日程① 3 月毎週日曜開催
- ・試合日程② 3 月土日開催

※試合日程は参加校の会場貸出状況により決定する。

※3 月すべての週末が試合日となる可能性がある。

第 64 回百射会・記録会

- ・対面開催
- ・開催日時は申請中

第一候補

記録会 5 月 5 日（火）

百射会 5 月 6 日（水）

※運営を円滑に行うため、明治神宮使用上のマナー・ルール等を確認する為の事前出場者

会議を開催する可能性がある。

第 56 回全関東学生弓道選手権大会

- ・個人戦予選（男子、女子）

開催日時：5月 16 日（土）、17 日（日）

オンライン開催（於 加盟校道場）

- ・団体戦予選、団体戦決勝トーナメント（中盤まで）

6月 20 日（土）

対面開催（於 日本武道館）

- ・団体戦決勝トーナメント（決勝まで）、OB 対抗戦、個人戦決勝射詰

6月 21 日（日）

対面開催（於 日本武道館）

第 73 期男子リーグ戦・女子リーグ戦

- ・開催期間

試合日程：2026 年 9 月 6 日（日）を第 I 週として予定している。

※この試合日程にした理由は、11 月になると各校で文化祭が開催され道場確保が困難になるため、リーグ戦を 10 月中に終了させる必要があるからだ。

- ・開催形式

全日程対面開催（予定）

第 38 回全国大学弓道選抜大会出場校一覧

男子

日本 大学
桜 美 林 大学
慶應義塾 大学
法 政 大学
明 治 大学
中 央 大学
早 稲 田 大学
國 學 院 大學
立 教 大学
東京農業 大学

女子

日本 大学
桜 美 林 大学
中 央 大学
明 治 大学
早 稲 田 大学
法 政 大学
東京農業 大学
東京都市 大学
日本体育 大学
学 習 院 大学
東京都立 大学

補足① 全国選抜大会開催の日程について

全関東学生弓道選手権大会が昨年度より 1 週間遅く開催されることになり、全国大学弓道選抜大会の試合日程を考慮した際に、大会が 2 週間連続で行われることになってしまう可能性がある。

このような日程になったことには以下の理由がある。

2026 年の全関東学生弓道選手権大会に向けて大会開催 1 年前の 2025 年の 6 月に会場への希望日程申請を行なった。そして 2025 年 8 月に来年の全関の日程が 6 月 20 日（土）、21 日（日）と確定した。

開催日程について、本連盟は希望日程の申請を行うことはできるものの、最終的に開催日程を決定するのは会場である日本武道館である。本連盟は 6 月 13 日（土）、14 日（日）を全関東学生弓道選手権大会の開催日程の第 1 希望として申請していたが、日本武道館側の事情により 6 月 20 日（土）、21 日（日）となった。

全国大学弓道選抜大会の会場となる明治神宮も全日本弓道連盟の管轄下にあり、日本武道館で開催される全関東学生弓道選手権大会同様、全日本学生弓道連盟は開催希望日程を会場側に申請することはできても、開催日程の最終的な決定は全日本学生弓道連盟ではなく、全日本弓道連盟がすることとなる。

全関東学生弓道選手権大会と全国大学弓道選抜大会が 2 週間連続で行われることは、選手ならびに学連にとって大きな負担となる。また、加盟校にも的回収や手伝い役員派遣などの面で負担をかけてしまうこととなる。しかし開催日程の最終決定権が学連にはないため、このような事態になってしまうことは各加盟校に理解していただきたい。

補足② 2026 年度インカレ大会開催日程について

（全日本学生弓道連盟執行委員長 伊香）

- ・開催地：神戸（予定）
- ・開催日時：希望日程を提出中

会場から 2 月中には開催日程を学連に通知すると伝えられた。そのため 2 月中には加盟校に 2026 年度インカレ大会の日程を発表できると見込んでいる。

質疑応答

質問なし。

8. ブロック分け抽選会

ブロック分け抽選会

実施目的

同リーグ内で複数ブロックが存在するリーグにおいて、組分けを行うため。

実施方法

議場前方において、呼び出された大学の代表者が集合する。

矢振りを通してブロックに振り分ける。

矢振りにはトーナメント抽選などで使用しているくじを使用する。

加盟校合併

学習院大学、学習院女子大学の合併により、学習院女子大学が学習院大学に統合される。

9. 全体を通した質疑応答

質疑応答

質問なし。

【16 時 00 分】

閉会。

《二日目》

1. 定足数確認（委員長 塚原）

《定足数》 第十九条

「総会は加盟校の三分の二以上の出席、または委任状の提出がなければこれを開くことが出来ない。」

加盟校 51 校のうち 50 校の出席、1 校からの委任状を確認した。

加盟校 2/3 以上参加の為、総会開催条件を満たす。

質疑応答

質問なし。

2. 都学連規約改正（委員長 塚原）

01.一部誤植について

発議背景

現行規約において、度重なる規約改正により条文の誤植や表記揺れが散見されるため、これを訂正したい。

発議・提案内容

下記のように条文を修正したい。

《事業》第七条

「本連盟は第二条の目的遂行のため次の事業を行う。

一、~~リーグ戦・女子部リーグ戦~~男子リーグ戦・女子リーグ戦

二、~~新人戦・女子部新人戦~~男子新人戦・女子新人戦

三、百射会

四、~~女子部~~記録会

五、全関東学生弓道選手権大会

六、機関誌『学生弓友』の発行

七、その他本連盟の目的に適する事業」

質疑応答

質問なし。

議決

全会一致で可決された。

02.男子新人戦の競技形式について

発議背景

現行規約において混乱を招く記載がなされており、下記の条文を修正したい。

発議・提案内容

- ・下記のように条文を修正したい。

《試合方式》第一一六条

③「一立六人山立順立とする。」

補足事項

規約上で山立を指定している理由としては、道場が狭い場合でも選手同士の安全な間隔を確保するためである。しかし実際は多くの道場で順立による行射が可能であり、現状に即した表記へと改める必要がある。なお規約改正後も、道場が狭い等の事情がある場合には、山立て行射できるよう大会要項にその旨を記載する。

質疑応答

質問なし。

議決

全会一致で可決された。

03.立順登録・交代の通知方法について

発議背景

リーグ戦・新人戦では、紙面で氏名・学年等を通知している。しかし、現状、漢字氏名の誤字が多発し記録管理に支障をきたしている。特にリーグ戦は昇降格がかかる重要な試合であり、規約から逸脱する行為は看過できるものではない。そのため、現行では競技校に対しては的中の外れ処理を行い、立合校に対しては懲戒処分を科すことで対応し、大会の公正性を担保してきた。本連盟は円滑かつ公正な大会運営を目指す組織であり、懲戒処分を科すこと自体を目的としているわけではない。もし競技校や立合校に対して懲戒処分を与えるに済む運営方法があるのであれば、その形を目指すべきである。そのため氏名ではなく部員番号によって選手を通知することで、そもそも漢字の誤記が発生する余地をなくしたい。

発議・提案内容

下記のように条文を修正したい。

《選手の通知》第六十四条

①「各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手八名と控え四名の氏名部員番号を立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく本座線を越えて入場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。」

《選手の通知》第九十四条

①「各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手四名と控え四名の氏名部員番号を立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく本座線を越えて入場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。」

《選手の通知》第一二三条

①「各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手六名の氏名部員番号を立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく出場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。」

《選手の通知》第一四四条

①「各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手四名の氏名部員番号を立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく出場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。」

補足事項

・部員番号を用いた通知によるメリット

部員番号での通知とすることで、氏名の誤記のリスクを防ぐことができる。

記入に要する時間を短縮できる。

・部員番号を用いた通知によるデメリット

システム管理上の都合により、部員番号は年度ごとに更新される。

※部員番号の取り違えについては、入場時に直接選手本人から部員番号を確認していること、スタメンの氏名はホワイトボード等に掲示されていることから、立合校と競技校との間で齟齬が生じることはないと考えられる。

質疑応答

[東京大学より質問]

- ① 部員番号制になると、選手登録用紙と照合する必要があり、立合の負担が増えるのではないか。ひらがなで書いたほうが良いのではないだろうか。
- ② 本議案が否決された場合、73期リーグ戦は現行方式で実施するのか。

①氏名を漢字ではなくひらがなで記載する方法も考えられるが、同姓同名への対応が難しいため、本連盟では、部員番号での運用が有効であると考えている。

②新人戦については現行方式で実施するが、リーグ戦については定時総会で改めて検討されるため、現時点では未定である。

[東京科学大学より質問]

- ①名前・部員番号・学年の三点を確認するという認識でよいか。
- ②公式記録用紙の選手名は数字ではなく漢字表記とするのか。

①その認識で問題ない。大会要項に記載するため確認してほしい。

②公式記録用紙には漢字で選手名（部員名）を書いてもらう。記載不備があった場合は再提出を求めることとなる。

[日本女子大学より質問]

- ①部員番号制になると、選手は番号を覚える必要があるのか。
- ②漢字の誤字脱字を防ぐためならひらがなカタカナの方が部員番号よりもわかりやすいのではないか。

①選手登録用紙を試合に持参しているため、暗記する必要はない。また、ひらがな表記についても同姓同名の場合に対応が困難である。

②同姓同名の部員がいた場合、連盟側で記録管理ができないため導入する予定はない。

[東京農工大学より質問]

数字の書き方が人によって異なるため、表記を統一しないのか。

算用数字に統一する方向である。補足として 2025 年度の立順登録用紙は算用数字で統一していた。

[桜美林大学より質問]

入場直前に番号・氏名・学年を確認すると時間がかかるのではないか。入場の際に確認するのは氏名・学年だけでいいのでは。

実務上、大きな負担にはならないと考えている。また、選手の名前を書き間違える等のミスを減らすことができるというメリットもある。

[早稲田大学より質問]

部員番号制には賛成だが、部員番号はどのように確認するのか。

選手登録用紙を確認することで対応可能である。

議決

賛成票 44 票(うち委任状 1 校)、反対票 7 票で可決された。

3. 道場貸出について

発議背景

コロナ禍を経て、道場貸出に協力的な加盟校が減少した。こうした実情を踏まえ、一昨年の研修会以降、道場貸出のひっ迫状況について問題提起を行い、学生弓道合同研修会および定時総会のグループディスカッションの議題として複数回取り上げてきた。道場貸出への協力状況には一定の改善傾向が見られるものの、依然として十分とは言えない状況が続いている。特にリーグ戦における会場確保は課題であり、第 72 期リーグ戦では、全 51 大学中 31 大学が会場貸出に協力している一方で、20 大学は貸出に協力していないのが実情であった。

現状分析

貸出協力校数

→コロナ禍前	34 校
一昨期	28 校
昨期	28 校
今期	31 校

→コロナ禍前の水準に回復していない。

I～V週目における会場貸出に協力している大学一校当たりの協力週数（平均）

→コロナ禍前	3.94
一昨期	4.35
昨期	4.79
今期	4.10

→貸出に協力している大学はほぼ全週貸し出すこととなっている。

会場貸出に伴う会場校の負担

- ・設営にかかる時間的、人員的負担
- ・的の準備にかかる金銭的、時間的、人員的負担
- ・当日の時間的、人員的負担
- ・撤収にかかる時間的、人員的負担

本連盟からの提案

道場を保有していない、人員が不足している等の事情はあるが、会場校に時間的・人員的・金銭的負荷をかけてしまっているのが事実である。

連盟としては会場貸出に伴う的枠代・的紙代を道場貸出に協力できない加盟校で工面したいという意向である。

展望

2025年12月：議論を深化させる。

2026年8月：システムの導入可否を決定する。

議論の展望次第では、第73期リーグ戦より新たなシステムを導入する。

ディスカッショントピック

- ・費用負担の考え方について
会場校の的枠・的紙代について、道場貸出に協力できない加盟校が工面するという仕組みそのものに賛成か反対か。
- ・提示されたシステム全体について
具体的に提示したシステムに対して賛成か反対か。
(反対の場合は、改善案の提示を求める。)
- ・その他意見
道場貸出を含む大会運営全般に関する意見・要望等

質疑応答

[國學院大學より質問]

- ①的枠は再利用可能であるため、的枠代は過度に負担する必要はないのではないか。
 - ②男子のみの道場貸出となっても問題はないのか。
- ①的枠代の負担の是非については、これからディスカッションでの議題となっている。
②道場貸出については、男子のみとなっても問題ない。

【14時10分～14時25分】

各校意見交換

【14時25分～15時10分】

ディスカッション

【15時10分】

まとめ

4. 全日本学生弓道連盟より連絡

令和8年度事業計画（全日本学生弓道連盟執行委員長 伊香）

- ・第38回 全国大学弓道選抜大会

日時：令和8年6月下旬または7月上旬（予定）

会場：明治神宮至誠館中央道場（予選・決勝）

明治神宮至誠館道場（予選）

備考：的回収および手伝い役員の派遣をお願いする場合がある。

- ・第74回 全日本学生弓道選手権大会、第57回 全日本学生弓道遠的選手権大会

日時：令和8年8月下旬（予定）

会場：グリーンアリーナ神戸（近的）

ユニバー記念競技場（遠的）

会場から、2月中には開催日程を学連に通知すると伝えられている。2月中に加盟校に2026年度インカレ大会の日程を発表できると見込んでいる。

- ・第64回 伊勢神宮奉納

日時：令和8年11月22日（日）・23日（月）

（王座〔男子〕・東西〔男子〕）

令和8年11月24日（火）・25日（水）

（王座〔女子〕・東西〔女子〕）

会場：伊勢神宮弓道場

部員登録関連について（全日本学生弓道連盟執行副委員長 高村）

確認期間

<2月1日～3月31日>

- ・今年度で引退する部員および退部登録をした部員が消えているか等を確認する。

- ・次年度在籍していない部員が残っていた場合、本連盟に部員の削除の連絡をする。

※3月31日を過ぎると、部員の削除はできない（退部扱いとし、次々年度削除される）。

新入部員の登録

<4月1日～9月30日>

- ・加盟校の部員となった時点で部員登録が必要である（正加盟・準加盟は問わない）。

※9月30日以降に入部した部員がいる場合は、その都度部員登録を行うこと。

部員登録について

- ・部員は漏れなく登録すること。
- ・大会での選手情報が誤ったものとなってしまうので、間違いのないように登録すること。
- ・質問がある場合は、全日本学生弓道連盟 HP の部員登録マニュアルを読んだうえで連絡すること。
- ・全日本弓道連盟の会員 ID や審査に関する事項などは、全日本弓道連盟に連絡すること。
- ・学生証コピーの提出について
各地区学連の指示に従うこと。
用紙は全日本学連 HP 掲載の指定の書式を使用すること。
- ・部員登録費・連盟費について

部員登録費の未納状況（全日本学生弓道連盟執行副委員長会計 相原）

以下の大学において、部員登録費の未納が確認されている。

- ・専修大学
- ・高千穂大学
- ・玉川大学
- ・東京工科大学
- ・東京薬科大学
- ・日本文化大学

連盟広報について（全日本学生弓道連盟執行委員長 伊香）

- ・Instagram にて広報活動を行っている。
- ・Instagram では各大会の出場校紹介を行っている。

オープンチャットについて（全日本学生弓道連盟執行委員長 伊香）

- ・引継ぎについて
全日学連オープンチャットの引継ぎも行うこと。
大会や連盟に関する相談は HP に掲載している連盟メールアドレスまで行うこと。
参加後はアナウンスしている参加登録フォームから参加登録を行うこと。

[桜美林大学より質問]

伊勢大会の日程について、日付と曜日が一致していないが、どちらが正しいのか。

会場配布資料において曜日の記載に誤りがあり、日付が正しい。

5. 2026 年度新役員募集について（専任委員 比良井）

学連とは

- ・大会や行事の運営を行う組織である。

学連の主な年間スケジュール

4月	新役員加入
5月	記録会・百射会
6月	全関東大会、全国選抜大会
8月	定時総会、インカレ大会、4年生引退
9、10月	リーグ戦
11月	伊勢大会
12月	代々木研修会
3月	新人戦

新役員募集日程

12月

- 12月 31 日締切のアンケート 2 点を研修会と同日に公開
- ・役員派遣の有無に関するアンケート(大学単位で回答)
 - ・候補者本人に対するアンケート(候補者本人が回答)

1月末～2月

本連盟役員との面接を実施する。日程については上記アンケートで希望日を回答してもらい、連盟内で調整のうえ決定する。

面接形式

- ・面接場所：学連事務所（東京都千代田区飯田橋 2 丁目 12-10 日高ビル 2 階）
- ・面接日程：アンケート結果をもとに決定し、45 分程度
- ・面接担当：東京都学生弓道連盟専任委員 比良井慧一
　　全日本学生弓道連盟執行委員 浜詰 真央
　　書記として他 1 名

3月 役員派遣校公表

加盟校全体に役員派遣校を公開。

なお、実際に役員として採用された候補者本人とその派遣校には個別に連絡をする。

注意事項

- ・留学は不可とする。
- ・役員候補者としてふさわしくない部員を面接に派遣してきた大学は役員派遣負担金の荷重率が減免されない可能性がある。
- ・採用理由、不採用理由等の事後質問は原則受け付けない。
- ・面接に参加するにあたっての諸連絡は、アンケートに登録されたメールアドレスに向けて行うため、必ず確認すること。

6. 役員派遣負担金制度について(副委員長会計 藤井)

制度概要

本制度は、連盟費および部員登録費を半額に設定し、減収分を役員派遣負担金として回収する制度である。役員派遣校・非派遣校間の負担の均一化および役員派遣に対するインセンティブの付与を目的として、2023年度から本制度を導入している。

(例) 連盟費：20000円 → 10000円 登録費：1000円 → 500円

役員派遣負担金の算出は、大学ごとの部員数に応じて変動するが、単純な部員数比例ではなく、「加重率」を設定し、部員数 × 加重率 = 加重部員数として計算している。

加重率は以下の通りである。

- ・非派遣校（面接参加）：部員数 × 1.5
- ・非派遣校（面接不参加）：部員数 × 2.0
- ・役員派遣校：部員数 × 0

(部員に現役役員がいる場合、役員派遣負担金は発生しない)

大学名	部員数	派遣状態	加重率	加重部員数	請求額
A大学	51	派遣した	0	0	¥0
B大学	14	面接あり	1.5	21	¥13,364
C大学	38	面接なし	2	76	¥48,364
D大学	25	内定後辞退	3	75	¥47,727
E大学	10	面接あり	1.5	15	¥9,545
合計	138人			187	¥119,000

(役員派遣負担金参考図)

※百射会までに内定辞退した場合、荷重倍率を3倍とする。それ以降に蒸発した場合、又は更迭された場合は更迭条項を適用する。留学等により役員活動の継続が困難と判断される場合には、加重率軽減の対象とならない可能性がある。

本制度は、学連として純利益が生じない金額設定をしている。また、加重倍率の設定により、役員派遣および面接参加の意義は大きいものとなっている。各加盟校におかれては、本制度の趣旨をご理解のうえ、ご協力を賜りたい。

7. 第72期新人戦について(専任委員 比良井)

開催期間

2月8日（日）：トーナメント抽選会

2月21日（土）：立合講習会

試合日程

① 3月毎週日曜開催

② 3月土日開催

※試合日程については参加校数、貸出可能道場数により決定する。

※3月すべての週末が試合日になる可能性がある。

開催形式

- ・トーナメント抽選会：オンライン開催
- ・立合講習会：オンライン開催
- ・試合：対面開催

参加にあたってのお願いと諸注意

- ・道場貸出への積極的な協力を強く要請する。
- ・大会要項を熟読すること。
- ・新人戦期間中は原則新人戦参加校の練習試合を禁止とする。

新人戦アンケート

- ・新人戦への参加の有無についての調査
- ・新人戦への2チームの出場を希望するか否かの調査

※新人戦は本来、1大学2チームまで出場することが可能である。しかし、会場確保の兼ね合いで近年1チームに制限している。

8. 告知・注意喚起（委員長 塚原）

本連盟への連絡先について

- ・委員長系列 : togakuren.iinkai@gmail.com
 - …大会全般に関する連絡・問い合わせ
- ・副委員長系列 : togaku910.forall@gmail.com
 - …選手登録、OB会に関する連絡・問い合わせ
- ・会計系列 : togaku.kaikei@gmail.com
 - …都学関連の会計に関する連絡・問い合わせ
- ・総務系列 : togakurensomu@gmail.com
 - …寄稿文、HP等に関する連絡・問い合わせ
- ・外務系列 : tokyo.girls.kyudo@gmail.com
 - …先生方への連絡・問い合わせ
- ・内務系列 : togakuren.naimu@gmail.com
 - …賞品賞状等に関する連絡・問い合わせ

出場停止処分

- ・未成年飲酒や未成年喫煙等、社会規範から逸脱した行為を犯した場合には、出場停止処分を行うことがあるので、全部員に徹底させること。
(部員個人の行為であっても処分の対象となる)
- ・また、行為があった際には必ず本連盟まで速やかに報告すること。
隠蔽があった場合には厳しく処罰する可能性がある。

正しい情報での選手登録を徹底

- ・的中管理データの根幹を担う大切なデータである。
→必ず期限内に正しく登録、訂正すること。
- ・期限については今後、明確化する方針である。

※おおもとのデータは全日本学生弓道連盟への部員登録情報である。

→学連が作成する選手登録用紙に間違いが多い場合は、部員登録情報を見直すとよい。

電話番号登録のお願い

- ・都学連事務所 : **03-6910-0791**

※電話帳に連絡先を登録しておくこと

9. 全体を通した質疑応答・その他

質疑応答

質問なし。

【16 時 00 分】

閉会。